

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 外国語 科目 O E I

教科： 外国語 科目： O E I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者： （3組：村上・若井・加藤） （6組：村上・若井・加藤）
 使用教科書： （CAMBRIDGE EXPERIENCES I）

教科 外国語 の目標：
【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞く、読む、話す、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、相手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 英語文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的自立的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 O E I の目標：		【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①英語の基本的な表現・語句を用いて、自分の意見や情報を伝えることができる。	②日常的・社会的な話題に関して、相手の考えを理解・受容し、自らの考えを伝えるなど、コミュニケーションを図ることができる。	①日常会話などの学習を通して、実社会に即した英語を用いて、会話をすることができるようになる。	②スピーチやディスカッション、デベートなどの活動を通じて、自らの考えを深め、論理的に意見を聞き手に伝えることができる。	①異なる文化・社会への深い関心を持ち、自ら学ぼうとする態度を有している。
				②日常的・社会的な話題に関して、自分の意見や情報を積極的に伝えようとする姿勢を持っている。
				③実践的な英語の会話の場面において、積極的にコミュニケーションを図ろうという意欲を有している。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		開	読	話 （ ） 話 （ ）	書	書					
1 学 期	【知識・技能】 Behaviour/Ways of learningに関して、現在形・現在進行形を表す文を用いて、会話をする技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 Behaviour/Ways of learningに関する文や会話を開いたり読んだりし、学習したことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 Behaviour/Ways of learningについて、関連する文や会話を通じて学んだことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 新出語句、新出文法事項、会話表現指導 ・教材 教科書、ワーク、多読図書、PCLL教室教具 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	12
	定期考査							○	○		1
	【知識・技能】 Technology/Appearanceに関して、過去・過去の否定・過去の疑問を表す文を用いて、会話をする技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 Technology/Appearanceに関する文や会話を開いたり読んだりし、学習したことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 Technology/Appearanceについて、関連する文や会話を通じて学んだことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 新出語句、新出文法事項、会話表現指導 ・教材 教科書、ワーク、多読図書、PCLL教室教具 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	12
定期考査								○	○		1
2 学 期	【知識・技能】 Work/Healthに関して、未来を表す表現、to不定詞、仮定法の文を用いて、会話をする技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 Work/Healthに関する文や会話を開いたり読んだりし、学習したことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 Work/Healthについて、関連する文や会話を通じて学んだことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 新出語句、新出文法事項、会話表現指導 ・教材 教科書、ワーク、多読図書、PCLL教室教具 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	12
	定期考査							○	○		1
	【知識・技能】 Happiness/Homeに関して、複合名詞、複合形容詞、比較を含む文を用いて、会話をする技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 Happiness/Homeに関する文や会話を開いたり読んだりし、学習したことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 Happiness/Homeについて、関連する文や会話を通じて学んだことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 新出語句、新出文法事項、会話表現指導 ・教材 教科書、ワーク、多読図書、PCLL教室教具 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	12
定期考査								○	○		1